

9/16マラソンシンポジウム 発言者として参加

『**こんなはずじゃなかった**介護保険、私たちのケア社会をつくる』をテーマに、8時間ぶっ通し！マラソンシンポジウム(主催:ケア社会をよくする会)が、9/16(月・祝)でオンライン開催され、約4000人の参加がありました。

当日は10～18時の開催で、**私たちは第3部に参加**、この間取り組んできた「訪問介護アンケート」「コロナ拡大による介護事業所からの緊急要請」「地域包括支援センターの委託費見直し」で、**県内事業所から集まった現場の切実な声を紹介**しました。第3部のテーマである「こんな制度が欲しい、展望」に迫ることができたかは自信がありませんが、**私たちは本来の介護がやりたいんだ！そのために政治を変えなければいけないのであれば、私たちはできることをこれからも続けていく！と訴えると**、チャット画面には「ええでねっか！新潟の取り組み」「領きすぎて首が痛い」等の感想が投稿されていました。

介護ワーカーが誇りを持って 働き続けるために

今後も現場の「リアルな声を掴み」「発信し」「世論に訴えることで」利用者さんの人生の最後に寄り添いたい。

そのために政治を変えなければいけないのであれば、私たちは出来ることをこれからも続けていく。

私たち介護従事者が役に立てることでやりがいも見いだせる。

地域の事業所が潰れていくことなく、事業所が存続し職員の生活も守り、お互いに感謝しあえる、そういうケアの好循環をつくりたい。

発表データは、新潟民医連のホームページにアップしました

左から新倉氏（県社保協）、小川さん（勤医協・発言者）、宮野（民医連）



シンポのプログラム・発言者等は
<https://wan.or.jp/article/show/11320>
(Women's Action Networkのページ)



YouTube配信は
<https://www.youtube.com/live/BV-oumqwWWA>
(私たちの発表は6:42:00頃からです)

